

新国立競技場計画
「情報公開と参加に関する調査」中間報告会のお知らせ
7月30日（金）午後7時
建築家会館（渋谷区神宮前）にて

参加と合意形成研究会*は公共政策・計画の透明性高い検討により、政府などの意思決定を支援する新たな方法論開発のために発足しました。7月11日（金）、千葉商科大学・丸の内サテライトキャンパスでキックオフ・シンポジウムを開催し、現在進行中の新国立競技場計画の持続可能性の公開診断を開始しました。

3時間近くに及ぶシンポジウムで議論された結果は、新国立競技場コンクールの募集要項にスポーツ施設だけでなく、コンサート用途も混在させた点が問題の根源だということです。その結果、開閉式遮音屋根の要求が含まれ、風致地区を損壊したうえ、余分な公的資金（税）が投下され、コンサートの民間事業者を支援するという倒錯した事態になっています。この分析から、現時点でも改修を前提とした競技場計画の代替案をとりうるが見えてきました。

前回シンポジウムの参考情報

シンポジウムの動画 <http://www.cuc.ac.jp/~sahara/opss/>

コンサート1回当たりの納税者負担の簡易試算

<http://www.cuc.ac.jp/~sahara/opss/data/trial.pdf>

当研究会は、引き続き新国立競技場計画をテーマに、競技場の周辺に在住、通勤、通学の方を対象とした情報公開と参加に関する調査を実施しています。本調査では、新競技場により生活環境に影響が生じうる皆様と計画を進める行政、事業者との間のコミュニケーションや、配慮事項の改善点の有無等を分析していきます。

第2回目のシンポジウムは、7月30日（水）、午後7時-8時に、上記調査の中間報告を中心に、以下の会場にて開催いたします。

会場：日本建築家協会 東京都渋谷区神宮前 2-3-18 <http://www.jia.or.jp/map.html>

◎ 申し込み、問い合わせ先：（幹事）桑原洋一

Tel: 090-5541-3635, kuwabara.yoichi@uwalumni.com

申し込みの際には、ご氏名とともに、所属情報のみ記載ください。

*「参加と合意形成研究会」代表：原科幸彦（千葉商科大学教授、東京工業大学名誉教授）